

第2回会合が流会

「大阪会議」定足数に満たずに

府と大阪市、堺市の首長と各議会議員が大阪全体の広域行政課題などについて話し合う「大阪戦

略調整会議(大阪会議)」の第2回会合が13日、大阪市役所内で開かれまし

たが、定足数を満たさず流会しました。

大阪会議は、大阪市の住民投票(5月)で「大阪都」構想にノーの審判が

下ったのを受け、自民党が府・大阪市・堺市の各議会に設置条例を提案し、維新を含む賛成多数で可決されたものです(日本共産党は反対)。府

知事、大阪・堺の両市長(大阪維新の会代表)ら

が大阪会議の目的は「大阪都」構想の対案」

7月に開かれた初会合では、大阪市の橋下徹市

長(大阪維新の会代表)らと各議会議員9人の計30人が大阪会議の目的は「大阪都」構想の対案」

7月に開かれた初会合では、大阪市の橋下徹市長(大阪維新の会代表)らと各議会議員9人の計30人が大阪会議の目的は「大阪都」構想の対案」

7月に開かれた初会合では、大阪市の橋下徹市長(大阪維新の会代表)らと各議会議員9人の計30人が大阪会議の目的は「大阪都」構想の対案」

し、議論が紛糾。規約や今後の議論の進め方などが決まらないまま終了していました。

その後、自民党府議団が会議の議決方法を一部変更する条例改正を行うために臨時府議会の開催を要求しました。

一方、大阪会議の今井豊会長(維新府議)が第2回会合の開催を通知し、

自民党、日本共産党が反発していました。会議の成立には3自治体の委員(各10人)の3分の2以上(各7人以上)の出席が必要ですが、第2回会合には自民、日本共産党の議員と、堺市の竹山修身市長が欠席し、定足数を満たしませんでした。

維新が会議を政争の具に 民意に応え中身の改革を

山中智子(日本共産党大阪府議団幹事長(大阪会議委員))の話

住民投票で市民の皆さま

「統一」やエネルギーを費やすのを目指す「中身の改革」

ではなく、よりよい大阪

こそが必要という願いだ

と思います。大阪会議に

事態がくり返される恐れがあり、不毛な対立を続けていては府民・市民の利益になりません。このような会議のあり方は認められないと考え、日本共産党は第2回会合を欠席しました。



山中智子幹事長

「統一」やエネルギーを費やすのを目指す「中身の改革」

ではなく、よりよい大阪こそが必要という願いだ

と思います。大阪会議に

事態がくり返される恐れがあり、不毛な対立を続けていては府民・市民の利益になりません。このような会議のあり方は認められないと考え、日本共産党は第2回会合を欠席しました。

「統一」やエネルギーを費やすのを目指す「中身の改革」

ではなく、よりよい大阪こそが必要という願いだ

と思います。大阪会議に

事態がくり返される恐れがあり、不毛な対立を続けていては府民・市民の利益になりません。このような会議のあり方は認められないと考え、日本共産党は第2回会合を欠席しました。

「統一」やエネルギーを費やすのを目指す「中身の改革」

ではなく、よりよい大阪こそが必要という願いだ